

べたがけ栽培の決定版

**ユニチカ
パスライト**

〈ポリエステル系複合長繊維不織布〉



べたがけ栽培の諸条件をクリアした。

パスライトは、栽培作物(主として野菜)の防霜及び品質向上などに最適なべたがけ資材。

通気性及び吸湿性と適度な保温性を合わせ持ちながら、透光性が大きいので、

べたがけをしたままでも生育障害の心配がほとんどありません。

播種直後の発芽ぞろいが良く、また活着を促進します。

各種の野菜に広く利用でき、収穫アップが期待できます。

〈特 長〉

- 1 防霜性に優れ、生育を促進します。
- 2 通気性・通水性・吸湿性があります。
- 3 透光性がよく、生育障害の心配がほとんどありません。
- 4 大変軽いので作業性も抜群です。

しかも、均一性に優れたポリエステル系複合長繊維不織布なので
耐久性・強度も万全です。

〈効 果〉

- 1 防霜
- 2 発芽促進
- 3 活着促進
- 4 品質向上
- 5 鳥害防止(露地)
- 6 雨・ヒョウからの
強打保護(露地)

使用上のご注意

商品の特性上、葉先の鋭い作物
や硬い作物の場合、まれに毛羽
(糸くず)が作物に付着することが
ありますので、十分にご注意下さ
い。毛羽付着が見られた場合は、
速やかにパスライトを除去した上
で、販売店、農協にご相談下さい。

なお、作物等への損害につきま
しては、当社賠償の責は負いかね
ますのでご了承下さい。

規 格	幅(cm)	長さ(m)	透光率
	80、90、105、120、135、150、180、210、240、270、320、360、400	200	90%

パスライトならではの高特性が、 作物へのべたがけを可能にしました。

ユニチカ
パスライト

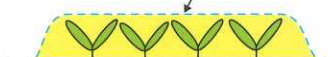
パスライトがもっている数々の特長が、ほとんどの作物のべたがけを可能にしました。
発芽ぞろいが抜群で、活着を促進します。下の例のほか、ニンジンやスイートコーンにも最適です。

パスライト使用例

露地

収穫直前、播種・定植後のべたがけに。
定植後の欠株防止(風除)のべたがけに。

パスライト



ホウレンソウ

播種11月上旬
収穫12月下旬
(べたがけ使用期間)
12月上旬より収穫時

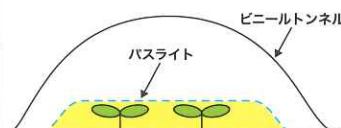


ジャガイモ

播種3月初旬
収穫5月下旬
(べたがけ使用期間)
播種後約30日間

トンネル

トンネル内のべたがけ、
多層トンネルの内トンネルに。



レタス

定植1月上旬
収穫4月上旬
(べたがけ使用期間)
定植後20~30日間



ハクサイ

定植1月中旬
収穫4月中旬
(べたがけ使用期間)
定植後20~30日間



ダイコン

播種1月中旬
収穫4月上旬
(べたがけ使用期間)
播種後より2月下旬

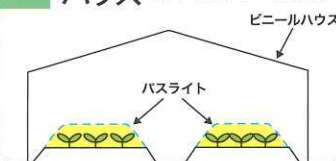


カブ

定植12月中旬
収穫1月下旬
(べたがけ使用期間)
定植後30~40日間

ハウス

ハウス内のべたがけに。



ハウス内 べたがけ

播種直後のべたがけに、ダイコン、
シュンギク、ホウレンソウ等。定植
直後のべたがけに、イチゴ、メロン、
スイカ、花等。

■パスライト露地べたがけによる効果の実例(小松菜)



播種10月22日
撮影12月23日
(播種直後から
撮影日まで被覆)

パスライト試験データ

■べたがけ資材の温度

	被覆なし	パスライト
最高温度(℃)	34.5	38.9
最低温度(℃)	-1.2	2.7
平均温度(℃)	10.2	14.3

※1重トンネル密閉条件でのべたがけ資材使用。

※データ出所: 埼玉県園芸試験場鶴ヶ島洪積畑支場

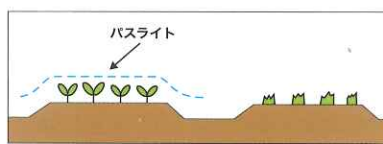
●このカタログに記載された内容、仕様は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

■パスライト実用試験データ

10月22日に播種を行った作物の、12月10日時点での生育状態(1株重量(単位:g))

<山梨県総合農業試験場にて>

	コマツナ	ホウレンソウ	ターサイ	シュンギク	アオナ
パスライト べたがけ区	16.5	4.4	9.1	1.6	11.2
無被覆区	6.0	2.0	1.6	0.3	2.6



取扱い代理店

UNITIKA ユニチカ株式会社

スパンボンド営業部 農業資材グループ

【東京本社】〒103-8321 東京都中央区日本橋4-6-7 TEL.03-3246-7564

日本橋日銀通りビル

ホームページ <http://www.unitika.co.jp/nonwoven/>